

Takara standard

「きれい」と暮らそう、高品位ホーロー。

NEWS RELEASE

ホーローシステムキッチン・バスメーカー『タカラスタンダード』による報道発表

報道関係者各位

No.29-18

2017年10月31日

タカラスタンダード株式会社

代表取締役社長 渡辺 岳夫

海外ショールームで活躍する外国人アドバイザーの 来日研修会を開催

システムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器メーカーのタカラスタンダード株式会社（大阪市城東区）は、カンボジアの首都プノンペンに12月（予定）新設するショールームに着任する現地の外国人アドバイザーに4日間（名古屋1日間・大阪3日間）の来日研修会を開催しました。



ショールームアドバイザーから『家事らくシンク』の説明を受けました
(写真左から^{ボラン}Borannさん、^{マアラ}Malaさん、^{デニサ}Danisaさん)

●ショールームや工場を見学

研修会では、大阪・名古屋のショールームを見学し、ショールームアドバイザーから製品の勧め方や特長などの説明を受けながらアドバイザーの基本接客術を学びました。また、実際の製品に触れてホーローの質感や品質の良さを体験しました。

工場見学ではシステムキッチンや洗面化粧台などのホーロー製品の製造工程である、施釉・焼成から組立・梱包・出荷までを見学しました。

●見積もりのプランニングシステムに奮闘

今回の研修会の中で最も苦労したのが、見積もりのプランニングシステムの研修でした。

お客様の希望を聞いて、各製品の基本セットとオプションやレイアウトを考えながら、図面や見積書をその場で作成するこのシステムは、国内のショールームアドバイザーが使用しているものと同じシステムを使うため、日常会話程度の日本語は理解できるボランさんとデニサさんも、日本語で表記される画面を理解することに時間を費やしました。



●研修会の感想

ボランさん（20歳）

「1つ1つのホーローの作り方にとても感動しました。ショールームのみなさんも一生懸命教えてくださいました。1週間の研修でたくさんを経験しました」

デニサさん（20歳）

「タカラの製品はカンボジアの物と違い、おしゃれで現地で売れると思います。

今回の研修で教えてもらった製品のことを、現地でお客様にしっかり伝えて販売していきます」

マーラさん（18歳）

「工場で見えたホーローの製造工程に感動しました。ガラスと鉄が高温で焼かれるホーローの技術はすごいと思いました」

来日研修を受けたアドバイザーは、今回の研修会で得た知識をもとに現地のショールームで活躍していきます。

また、今後も海外市場において、当社の独自素材である高品位ホーロー製品が、住まいのさまざまな場面で優れた機能を発揮することを多くの海外のお客様に向けてアピールしていきます。

〈会社概要〉

タカラスタンダード株式会社

◆設立：明治45年5月30日（創業106年）

◆資本金：263億56百万円

◆売上高（連結）：1,831億円（平成28年度）

◆従業員数（連結）：6,067名

◆事業内容：ホーローを中心としたシステムキッチン・システムバス・洗面化粧台・住宅用トイレ・ホーロー内装材・その他の住宅設備機器の製造販売